

消化器内科

第1週月曜日の集合場所： 研究棟8階 消化器内科医局

(第1週月曜日が休日の場合は、火曜日に上記集合場所へ集合)

集合時間： 9時00分

クラークシップ・ディレクター： 水上 一弘 (FMC 32528)

アテンディング： 遠藤 美月 (FMC 32905)

チーフ： 小川 竜 (FMC 32514)

兒玉 雅明 (FMC 32506)

荒川 光江 (FMC 32902)

福田 健介 (FMC 32203)

岩尾 正雄 (FMC 32298)

小坂 聡太郎 (FMC 32523)

内田 宅郎 (FMC 32436)

平下 有香 (FMC 32538)

佐上 亮太 (FMC 32513)

消化器内科

【一般目標】

消化器内科疾患に対する知識・技能を身につけるために、消化器疾患の症候を呈する患者をとおして、腹部診療手技、疾病の原因、病態、診断、治療法、治療効果の判定に至る思考過程および症例のプレゼンテーション方法を学ぶ。

【行動目標】

- ① 消化器疾患を有する患者に対して適切な医療面接ができる。
- ② 入院患者に対して腹部の視診、聴診、打診、触診ができる。
- ③ 腹部超音波検査で腹部臓器を描出することができ、疾患時の所見を説明できる。
- ④ 内視鏡検査（上下部消化管内視鏡、内視鏡的逆行性膵胆管造影：ERCP）の適応を判断し、病変診断ができる。
- ⑤ 単純エックス線検査（胸部、腹部）で診断できる消化器疾患とその所見を列挙できる。
- ⑥ 造影エックス線検査（上部・下部消化管）の適応を判断し、病変診断ができる。
- ⑦ 腹部 CT 検査における正常画像を理解し、主要な消化器疾患の異常所見について説明できる。
- ⑧ 以下の主要な疾患について、病態を理解し、適切な検査、診断、治療法を概説できる。
 - (ア) 消化性潰瘍
 - (イ) 炎症性腸疾患
 - (ウ) 肝疾患（急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変、肝癌）
 - (エ) *Helicobacter pylori* 感染症
 - (オ) 胃がん、食道がん、大腸がん
 - (カ) 膵がん、胆管がん
 - (キ) 胆石症（胆嚢結石症、総胆管結石症、肝内結石症）
- ⑨ 腹痛の鑑別ができる。
- ⑩ 嘔吐・下痢、吐血・下血の原因を列挙できる。
- ⑪ 黄疸を理解し、病態生理に基づいた肝疾患の鑑別、胆道系疾患の鑑別ができる。

第1週	月	火	水	木	金
8:00～9:00					
		受け持ち患者診察	受け持ち患者診察	受け持ち患者診察	受け持ち患者診察
9:00～10:00	オリエンテーション 水上 (32528) (研究棟8階消化器内科医局)	病棟実習（自学自習）	内視鏡検査実習 福田昌(32540)	9:00～レクチャー 消化性潰瘍 平下(32538) (7西カンファ室)	病棟実習（自学自習）
10:00～11:00	担当患者紹介 遠藤(32905)	内視鏡実習 あるいは 病棟実習（自学自習） 受け持ち患者の診療計画など 平下(32538)		内視鏡検査実習 福田(32203)	9:15～ レクチャー 肝癌 遠藤(32905) (7西カンファ室)
11:00～12:00	11:00～ レクチャー 腸炎 小坂(32523) (7西カンファ室)		病棟実習（自学自習） 受け持ち患者の ウィークリーサマリー作成		
昼休み					
13:00～14:00	病棟実習（自学自習）	病棟実習（自学自習）	13:00～レクチャー 消化管の内視鏡治療 堤(32518)（7西カンファ室）	病棟実習（自学自習）	病棟実習(自学自習)
	13:30～ レクチャー 急性肝炎・肝不全・肝硬変 岩尾(32298) (7西カンファ室)		内視鏡実習 あるいは 病棟実習(自主学習) 小坂(32523)	病棟実習（自学自習）	
14:00～15:00	病棟実習（自学自習）	ERCP実習(内視鏡室) あるいは 病棟実習(自主学習) 受け持ち患者の疾患に 関する学習 堤 (32518)		休憩	肝生検見学 7西検査室 遠藤(32905)
15:00～16:00	15:15～ 新患紹介 7西カンファ室		振り返り		振り返り
16:00～17:00	回診				
17:00～18:00					

第2週	月	火	水	木	金
8:00～9:00	受け持ち患者診察	受け持ち患者診察	受け持ち患者診察	受け持ち患者診察	受け持ち患者診察
9:00～10:00	RFA実習（手術室） （RFAなければ内視鏡実習） 遠藤（32905）福田（32203）	自学自習受け 持ち患者のまとめなど	内視鏡検査実習 福田昌（32540）	9:00～レクチャー 国際協力活動 福田(32203) （7西カンファ室）	
10:00～11:00		10:30～内視鏡実習 平下(32538)		内視鏡実習 福田(32203)	10:00～レクチャー 総復習 水上(32528) （7西カンファ室）
11:00～12:00			11:00～ レクチャー B型肝炎・C型肝炎 荒川(32902) （7西カンファ室）		試問に向けてのまとめ
昼休み					
13:00～14:00	病棟実習（自学自習） 13:30～レクチャー AIH/PBC/NASH/アルコール 内田（32436） （7西カンファ室）	採血実習 （内視鏡室）	ERCP実習（内視鏡室） あるいは 病棟実習（自主学習） 受け持ち患者の検査結果 の考察 堤（32518）	肝生検（7西検査室） or/and RFA見学（手術室） 遠藤(32905)	13:00～ 消化器内科試問 水上 研究棟8階 医局(内6193)
14:00～15:00	病棟実習（自学自習）	内視鏡実習 あるいは 病棟実習（自主学習） 小坂(32523)		休憩	消化器内科実習の振り返り
15:00～16:00	15:15～新患紹介				
16:00～17:00	回診			振り返り	
17:00～18:00					

学生による**消化器内科**実習の評価 令和6年度

講座名： 消化器内科

実習期間： 年 月 日～ 月 日

学籍番号： 氏名：

<選択肢>

5 : 強くそう思う (とても良い) 4 : そう思う (良い) 3 : どちらとも言えない (普通)
2 : そうは思わない (余り良くない) 1 : 全くそう思わない (悪い)

A : 実習プログラム、内容、指導医に対する評価

- ① オリエンテーションは実習を行う上で有用であった -----➡ (5 4 3 2 1)
- ② 到達目標、週間スケジュール表は役に立った -----➡ (5 4 3 2 1)
- ③ 指導医は丁寧に、親身になって指導してくれた -----➡ (5 4 3 2 1)
- ④ 指導医は患者・医師関係の規範となる態度を示してくれた --➡ (5 4 3 2 1)
- ⑤ 朝の回診、夕方のフィードバックは有用であった -----➡ (5 4 3 2 1)
- ⑥ 実習期間 (2週間) は丁度よかった -----➡ (5 4 3 2 1)

「2 : そうは思わない (余り良くない)」、1 : 全くそう思わない (悪い) と回答した場合のみ

どのようにすれば良いと考えますか？

--

- ⑦ 参加型実習として技能・態度を学ぶ機会が充分あった -----➡ (5 4 3 2 1)

「2 : そうは思わない (余り良くない)」、1 : 全くそう思わない (悪い) と回答した場合のみ

どのようにすれば良いと考えますか？

--

- ⑧ 実習スケジュールは到達目標達成のために効果的だった --➡ (5 4 3 2 1)

「2 : そうは思わない (余り良くない)」、1 : 全くそう思わない (悪い) と回答した場合のみ

どのようにすれば良いと考えますか？

--

- ⑨ 総合的にみて、実習は満足するものであった -----➡ (5 4 3 2 1)

B : 実習態度に対する自己評価

- ① 信頼される髪型・服装・姿勢・態度をとることができた -----➡ (5 4 3 2 1)
- ② 無断欠席・早退せず、決められた時間を厳守できた -----➡ (5 4 3 2 1)
- ③ 患者を尊重し、良好な対人関係を築くことができた -----➡ (5 4 3 2 1)
- ④ 学習意欲を持ち、自ら調べ、指導医と議論することができた --➡ (5 4 3 2 1)
- ⑤ 診療チームの一員として、行動 (診療参加) できた -----➡ (5 4 3 2 1)
- ⑥ 各場面で適切なプレゼンテーションを行うことができた -----➡ (5 4 3 2 1)

C：行動目標に対する自己評価

- ① 消化器疾患を有する患者に対して適切な医療面接ができる。 (5 4 3 2 1)
- ② 入院患者に対して腹部の視診、聴診、打診、触診ができる。 (5 4 3 2 1)
- ③ 腹部超音波検査で腹部臓器を描出することができ、疾患時の所見を説明できる。
(5 4 3 2 1)
- ④ 内視鏡検査（上下部消化管内視鏡、内視鏡的逆行性膵胆管造影：ERCP）の適応を判断し、病変診断ができる。
(5 4 3 2 1)
- ⑤ 単純エックス線検査（胸部、腹部）で診断できる消化器疾患とその所見を列挙できる。
(5 4 3 2 1)
- ⑥ 造影エックス線検査（上部・下部消化管）の適応を判断し、病変診断ができる。
(5 4 3 2 1)
- ⑦ 腹部 CT 検査における正常画像を理解し、主要な消化器疾患の異常所見について説明できる。
(5 4 3 2 1)
- ⑧ 以下の主要な疾患について、病態を理解し、適切な検査、診断、治療法を概説できる。
- (ア) 消化性潰瘍 (5 4 3 2 1)
- (イ) 炎症性腸疾患 (5 4 3 2 1)
- (ウ) 肝疾患（急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変、肝癌） (5 4 3 2 1)
- (エ) *Helicobacter pylori* 感染症 (5 4 3 2 1)
- (オ) 胃がん、食道がん、大腸がん (5 4 3 2 1)
- (カ) 膵がん、胆管がん (5 4 3 2 1)
- (キ) 胆石症（胆嚢結石症、総胆管結石症、肝内結石症）
- ⑨ 腹痛の鑑別ができる。 (5 4 3 2 1)
- ⑩ 嘔吐・下痢、吐血・下血の原因を列挙できる。 (5 4 3 2 1)
- ⑪ 黄疸を理解し、病態生理に基づいた肝疾患の鑑別、胆道系疾患の鑑別ができる。
(5 4 3 2 1)

D：全体評価（自由記載欄）

以下の3項目について記載してください。（3項目とも記載をお願いします）

1) この実習で良かった点は何ですか。

2) この実習で改善してほしい点がありますか。

3) この実習で印象に残ったことは何ですか。

お疲れ様でした。

クリニカル・クラークシップ評価表（全科共通）

配属先 消化器内科 学籍番号 氏名

配属期間 年 月 日 ～ 年 月 日 (Stage1 ・ Stage2)

※いずれかに○をしてください。

各診療科等の基本方針（目的・到達目標）、方法（内容・行動指針）等を勘案して、以下の項目で
 適当と思われる評価を□欄に記載して下さい。

1. 出席の評価

- ☐ 正当な理由のある欠席を除き、全日程に出席した。
- ☐ 無断欠席（早退・離脱）などが1回あった。
- ☐ 無断欠席（早退・離脱）などが2回以上あった。

2. 実習中の身だしなみ・態度・動作・言葉づかい等

- ☐ S ☐ A ☐ B ☐ C ☐ 不可

3. 問題志向型システム・科学的根拠にもとづいた医療

(基本的診療知識にもとづき、情報を収集・分析できる。得られた情報をもとに、問題点を抽出できる。病歴と身体所見等の情報を統合して、鑑別診断ができる。診断・治療計画が立てられる。科学的根拠にもとづいた医療（EBM）を実践できる等）

- ☐ S ☐ A ☐ B ☐ C ☐ 不可

4. 医療面接

(礼儀正しく患者（家族）に接することができる。プライバシーへの配慮し、患者（家族）との信頼関係を形成できる。医療面接における基本的コミュニケーション技法を実践できる。病歴聴取（主訴、現病歴、既往症、家族歴、社会歴、システムレビュー）を実践できる等）

- ☐ S ☐ A ☐ B ☐ C ☐ 不可

5. 診療記録とプレゼンテーション

(診療録を POMR 形式で記載できる。毎日の所見と治療方針を SOAP 形式で記載できる。受持ちの患者の情報を診療チームに簡潔に説明できる等)

- ☐ S ☐ A ☐ B ☐ C ☐ 不可

6. 当該グループ・科における独自の評価

(基本方針（目的・到達目標）の達成度。方法（内容・行動指針）に沿っての成果。注意事項遵守等）

- ☐ S ☐ A ☐ B ☐ C ☐ 不可

7. 自由記載

【総合評価】

- ☐ S (90 点) ☐ A (80 点) ☐ B (70 点) ☐ C (60 点) ☐ 再実習 ☐ 不可 (点)

(再実習，不可の場合の理由：)

年 月 日

評価者氏名

指導医

指導責任者（教授等）